

## 近畿大学附属和歌山高等学校

### ・メンバー紹介

こんにちは、近畿大学附属和歌山高等学校科学部の缶サット班です。

私たちは3人で活動をしており、サポートメンバーはいません。

昨年の9月頃から今年の大会に向けて活動しています。

メンバーは以下のとおりです。

1年 尾崎翔太（ハードウェア担当）

1年 和佐圭悟（ソフトウェア担当）

1年 松野史明（減速機構、キャリア担当）

メンバー全員が初めての大会出場です。

### ・ミッションの目的

私たちのミッションの目的は、1つ目にコンパクトな缶サットにすることです。

そのため、機体を入れる缶は185g缶を使います。

缶の高さは10.4cm、直径5.2cmで、サントリーの缶の中で一番小さいです。

2つ目に高地による人体の影響を調べることです。

具体的には、我々が住む地域の温度と高地の温度の比較、気圧の比較です。

機体の中には温度、加速度、気圧、GPSのセンサが4つ入っています。

また、タクトスイッチなどを付けずに無線機で操作し、データの送受信も無線機で行います。

パラシュートは大きいもの1つを付けるより、小さいものを4つを付けるほうが安定するので4つ付けました。

### ・全国大会に向けて

全国大会に向けて行なっていることは、2つあります。

1つ目に、紫外線、赤外線、2つのセンサを付け加えます。

2つ目に、紫外線センサと太陽を利用した缶の周り具合も調べる予定です。

全国大会に向けて精一杯頑張ります。